春の調べ（1934）

EKSTASE
ECSTASY

メディア 映画
ジャンル エロティック　ドラマ
製作国 チェコ
色彩 B&W
時間 95分
初公開日 1935/07
公開情報 劇場公開

【解説】

文字通り“性の解放”そのものをテーマにし、全裸の女性の水浴びや馬の交尾など当時としてはショッキングなシーンが描かれ、そのため世界各国で様々な賛否両論や検閲の浮き目を見る事になった“元祖ポルノ映画”とも呼ぶべき作品。主演のＨ・キースラーはこの映画の後、アメリカに招かれ、Ｈ・ラマールと改名して活躍している。

チェコの農家の一人娘エヴァは親に勧められ年の離れた商人エルミと結婚する。が、夢に見ていたものとはほど遠い結婚生活に彼女の不満は募るばかり。或る夏の日、無慈悲に虫を殺す夫の姿を見たのをきっかけにとうとうエヴァは実家に逃げ帰ってしまった。すぐに離婚の手続きをとり、ほっとした彼女は近くの湖へ散歩に行き、全裸となって泳ぎ始めるのだが……。各国で検閲を受けた結果、馬の交尾など幾つかのシーンがカットされ、ラストもオリジナルでは新しい夫との間に子供が生まれる所で終わるらしいのだが、現在ビデオで見る事のできるアメリカン・バージョンでは新しい恋人パウルと別れる所で終わるように改変されている。

【クレジット】

監督 グスタフ・マハティ　Gustav Machaty
脚本 グスタフ・マハティ　Gustav Machaty
撮影 ヤン・スタルリッヒ　Jan Stallich
音楽 ジュゼッペ・ベッチェ　Giuseppe Becce
出演 ヘディ・キースラー
スボニミール・ロゴス
レオポルド・クラマー

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.